

山形県立山形東高校  
**棚村好彦** 先生  
Tanamura Yoshihiko

次に踏み出す  
「やりたい」を  
支えたい

生徒が、やりたいことにどんどん挑戦できるようにする——それが、私が

学年主任を務める2学年の基本方針です。本校は、2018年度に探究科を設置し、普通科も含め、全校で探究学習を推進しています。探究科の設置に際し、私は全国の探究学習の先進校を訪れ、その手法を学ぶ役割を担い、山東らしい探究学習の進め方を模索しました。その1つが、生徒の意欲を後押しする環境づくりです。高校は、大学での学びや社会を見据え、生徒が自分の軸を探る場所であり、その軸は多様な体験を通じてこそ見つかるも

のだと思います。教師が一步引くことで、生徒が時間にも心にも余裕を持ち、やりたいことに打ち込めるようにしています。

2年次の課題研究は、生徒がテーマを決めて、個人またはグループで取り組みます。20年度は、コロナ禍で

思うように研究を進められない状況でしたが、だからこそ、「どう思うの?」「なぜ、そうしたの?」と問い

かけることで、生徒が内省し、納得のいく研究ができるようにしました。途中報告も含め、3回行った研究発表会では、回を重ねるごとに、生徒は根拠を示して

意見を述べることができるようになっていき、自分の考えを聞き手に伝えるように表現しようとする姿に、頼もしさを感じました。

年度末、2年生全員に書かせた志望理由書を読むと、文章は稚拙でも、生徒それぞれ

の「やりたい」という情熱が伝わってきました。生徒が自分の納得のいく道を選び、次の一歩を踏み出していく——卒業までのあと1年、生徒の「やりたい」を見守りつつ、支えていきます。



生徒より

山 東に入学してよかったと思うのは、自分の興味とことん追究できる風風があることです。模擬国連や化学グランプリなど、様々な活動への参加を通じて、自分の学びたいことが明確になってきています。課題研究は、コロナ禍の影響で着手が遅れ、思うように実験ができませんでしたが、先生方にも相談し、今できる工夫をして、納得のいく結果を出すことができました。どんな状況でも、環境のせいにならず、自分で責任を持ってやり遂げる大切さを学びました。

たむら・よしひこ 教職歴15年。同校に赴任して8年目。2学年主任、理科(化学)。

山形県立山形東高校 全日制/普通科・探究科(理数探究科・国際探究科) / 共学 / 1学年約240人 / 2021年度入試合格実績(現役のみ) 国公立大は、北海道大、東北大、山形大、東京大などに146人が合格。私立大は、慶應義塾大、東京理科大学、早稲田大などに延べ100人が合格。

※プロフィールは、2021年3月時点のものです。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル **0120-350455** [受付時間] 月~金8:00~18:00/土8:00~17:00(祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17